

平成27年

とやま水土里フォーラム

～ 水の恵みと持続可能な農業用水の利活用 ～

11月18日(水) 会場 入善町民会館「コスモホール」

午前の部 表彰・講演 10:00～12:00 (開場 9:30)

入場無料

- 表彰式 ————— 「とやま水土里賞(富山県知事賞)」
- 受賞地区事例発表 — ・ 庄助川排水路施設維持管理協議会 (入善町)
・ 鞍川工区水利管理組合 (氷見市)
- 基調講演 ————— 「土地改良区は風前のともし火か、それとも空前のかがり火か!?!」
講師: 金子 照美 氏 (田園社会イニシアティブ株式会社 代表取締役)

午後の部 現地研修 13:00～16:10 (事前申込み必要)

- 黒東合口用水 右岸沈砂池
- 小水力発電 浦山新地区(右岸連絡用水)
- 杉沢の沢スギ
- 黒部市地域観光ギャラリー

販売・展示コーナー 10:00～13:30

- 新川地域の農産加工品販売 < 協力団体: 新川地域の農産加工グループ >
- コンクリート製品等の展示 < 協力団体: 富山県コンクリート製品協会 >

主催 富山県、富山県土地改良事業団体連合会(水土里ネット富山)

後援 農林水産省北陸農政局、入善町、黒部市、入善町教育委員会、黒部市教育委員会、富山県内各土地改良協議会(東部・富山・高岡・砺波)



プログラム——11月18日(水) 開場 9:30

午前の部 表彰・講演 10:00~12:00 (入場無料)

●表彰式 とやま水土里賞(富山県知事賞)

とやま水土里賞とは、土地改良施設の有する多面的機能の発揮等、優れた維持管理活動を実践している団体・個人に授与するものです。

●受賞地区事例発表

発表者 / 庄助川排水路施設維持管理協議会(入善町) 発表者 / 鞍川工区水利管理組合(氷見市)

●基調講演

題名

土地改良区は風前のともし火か、それとも空前のかがり火か!?

講師

金子 照美 氏 (田園社会イニシアティブ株式会社 代表取締役)

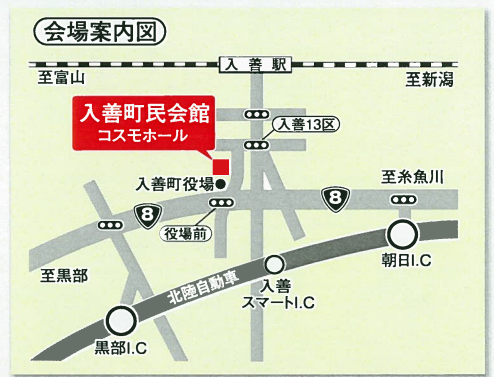
日本の農業・農村は課題が多いと言われていますが、「海外や経済界からの農業界への注目度は大変大きく、企業によるIT農業革命が巻き起ころうとしている今、農家や土地改良区は何をすればよいのか」などの視点で、土地改良関係に精通したIT業界の講師からのお話をいただきます。



金子 照美 氏
1949年
岐阜県郡上八幡 生まれ

◎講師プロフィール

大学卒業後、トヨタ、イビデンなど中京大手企業の企業戦略、CI・マーケティング、広報戦略に数多く携わる。40歳の時に大学院で経済学を修めた後、豊富な企業戦略のノウハウを活かして、農水省、土地改良区関係の広報活動に従事。代表作にパンフ「農シリーズ(21作)」(富山県は「常願寺川・農人の記憶」)をはじめ、ウェブサイト「水の礎」(月間平均90万アクセス)「アグリネクス・ジャパン」「SENECA21」「疏水名鑑」等。



午後の部 現地研修 13:00~16:10 (現地研修は事前申込みが必要です)



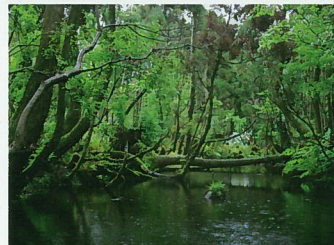
黒東合口用水
右岸沈砂池

一級河川黒部川の愛本堰堤にて農業用等に取水した用水に含んでいる砂を沈ませてから、下流の黒東合口用水路に流す施設です。左岸側の黒西合口用水路にも沈砂地があり、右岸5,192ha、左岸2,331ha合わせて7,523haの農地にきれいな水を流しています。



小水力発電
浦山新地区
(右岸連絡用水)

黒東合口用水路から分水した右岸連絡用水路の落差を利用し発電するもので、最大出力280kWを計画しています。水路は水温上昇を目的に幅広で、水路と遊歩道、170本の桜がマッチし潤いのある景観となっています。



杉沢の沢スギ

黒部川扇状地の末端部で、小川が流れ地下水の湧出する海岸に近い地域に、発達した沢スギ。現在では2.7haの森が保存されており、国内では珍しい平地の湧水地帯に生育する唯一のスギ林として昭和48年に国指定天然記念物に指定されました。



黒部市地域観光
ギャラリー

北アルプスから富山湾の底まで高低差4,000mのダイナミックな自然に、雨・雪・氷河・清流・湧水などの水の巡りと、それを活かした水の文化が育まれ、地域全体が水と大地のフィールドミュージアムです。